

シナリオ名：漆黒の黙示録（ヒストリー・オブ・ブラック）

ソロシナリオ

推奨 PC：拠所として大切な相手がいる人物。家族恋人友人等は基本的に問わない。

【今回予告】

掃除中に見つけた1つの箱。

あなたはその箱の中身を知っている。

それは、隠し通さなければならぬ黒き歴史――

脅威：PCの黒歴史

内容は問いません。自作の漫画や小説、ポエムにラブソング、若気の至りによるコスプレ写真などでもいいでしょう。

拠所の相手に「バレたくない」と思えるようなものにしてください。

出自：人外

異能特技：秘匿、翼、触手、爪、牙、不死

所有スキル：『殺戮』『※悪意』『食餌』『※バージ』

異音フェイズ

あなたは拠所と一緒に掃除をしている。

ふと拠所の方を見ると、1つの箱を手にとって首を傾げていた。

その時、あなたの脳裏に蘇る一抹の記憶。箱の中身の正体。

あなたはその黒い歴史の正体を、拠所から隠し通さなければならぬ――

狂騒フェイズ

脅威の闇が5以下の場合、『殺戮』を宣言して闇を上昇させます。

脅威の闇が6以上の場合、誘いによるPCの闇の上昇を狙います。

3サイクル目は闇の数値に関わらず『殺戮』による闇の上昇を行います。

決戦フェイズ

攻撃は基本的に翼、触手、爪、牙、不死の順で連続判定を行うといいでしょう。

最初に受けるダメージは『※バージ』で無効化して下さい。

再起するたびに『※悪意』でしぶとく闇を回復しつつ、自身の攻撃の際に『食餌』で追加ダメージを狙います。

和解条件：脅威の破壊

事故等を装って、箱の破壊・廃棄を行います。

バレる心配は無くなりますが、あなたの心には過去の遺物を失った事による虚無感が少なからずあるでしょう。

決着時

あなたは上手い具合に誤魔化しつつ、黒歴史の中身が露見することを防いだ。

だが、黒歴史であっても過去の思い出には変わらない。

捨てるのも忍びないので、次はちゃんとバレないように隠そう。

タイトル：漆黒の黙示録

作者：斬白

講評：

黒歴史と拠所が敵になるなかなか秀逸な日常型シナリオです。

所有スキルがいちいち禍々しいのがもう笑えると言うあたりで七割勝っているのがこのシナリオです。

PCの設定によって中身を可変式にしているおかげでPCを選ばずに遊べるシナリオで、

拠所との関係によって展開が変わる、何度遊んでも楽しいシナリオの典型例と言えるでしょう。

ただ一つ勿体無い点は、決着時の展開です。

隠し通す展開に絞るのは遊ぶ上で遊びやすさも増すので悪くない割りきりです。

しかし拠所との関係性次第では黒歴史そのものが脅威となくなる、という展開もありえるわけで。

シナリオに書かれた展開しか遊べない、というわけではありませんが、

PCと拠所の関係性が変化するチャンスでもあるわけですから、その可能性を潰すのは少々勿体無いでしょう。

黒歴史を完全な脅威とするのではなく、分かり合える展開も用意できると遊びの幅が広がるでしょう。

なお、このシナリオは講評後に修正版が投稿されたため、そちらも掲載します。

シナリオ名：漆黒の黙示録（ヒストリー・オブ・ブラック）

ソロシナリオ

推奨 PC：拠所として大切な相手がいる人物。家族恋人友人等は基本的に問わない。

【今回予告】

掃除中に見つけた1つの箱。

あなたはその箱の中身を知っている。

それは、隠し通さなければならぬ黒き歴史――

脅威：PCの黒歴史

内容は問いません。自作の漫画や小説、ポエムにラブソング、若気の至りによるコスプレ写真などでもいいでしょう。

拠所の相手に「バレたくない」と思えるようなものにしてください。

出自：人外

異能特技：秘匿、隠れる、翼、触手、牙、不死

所有スキル：『殺戮』『※悪意』『食餌』『※バージ』

異音フェイズ

あなたは拠所と一緒に掃除をしている。

ふと拠所の方を見ると、1つの箱を手にとって首を傾げていた。

その時、あなたの脳裏に蘇る一抹の記憶。箱の中身の正体。

あなたはその黒い歴史の正体を、拠所から隠し通さなければならぬ――

狂騒フェイズ

脅威の闇が5以下の場合、『殺戮』を宣言して闇を上昇させます。

脅威の闇が6以上の場合、誘いによるPCの闇の上昇を狙います。

3サイクル目は闇の数値に関わらず『殺戮』による闇の上昇を行います。

決戦フェイズ

攻撃は基本的に牙、触手、翼の順で連続判定を行うといいでしょう。

ダイスに自信があるならば不死から始めて4成功を狙うのも手かもしれません。

最初に受けるダメージは『※バージ』で無効化して下さい。

再起するたびに『※悪意』でしぶとく闇を回復しつつ、自身の攻撃の際に『食餌』で追加ダメージを狙います。

和解条件：脅威の破壊

事故等を装って、箱の破壊・廃棄を行います。

バレる心配は無くなりますが、あなたの心には過去の遺物を失った事による虚無感が少なからずあるでしょう。

決着時

あなたは上手い具合に誤魔化しつつ、黒歴史の中身が露見することを防ぐことが出来た。

だが、黒歴史であっても過去の思い出には変わらない。

捨てるのも忍びないので、次はちゃんとバレないように隠そう。

別 ver

あなたは上手い具合に誤魔化しつつ、黒歴史の中身が露見することを防ぐことが出来た。

だが、黒歴史と向き合う事によってあなたの心には多少なりとも変化が生じ、自らの過去として受け入れる覚悟が生まれているかもしれない。

この黒歴史を…否、過去の思い出をそのまま胸に秘めておくか、大切な相手と共有するか、それはあなたの自由だ。